

課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント

〔 取組 1 〕 医師・歯科医師を対象とした事業
(1) 横断的な診療力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成
医療の質管理領域 (医療安全・感染制御)

		整理番号	1
申請担当大学名 (連携大学名)	東京医科歯科大学		
事業名	P D C A 医療クオリティマネージャー養成		
事業責任者	学長 吉澤 靖之		
事業の概要			
<p>【目的】我が国での安全管理・感染制御を含む医療の質の体系的な評価と確保を担える人材が極めて少ないこと及び医療機能高度化を支える病院組織マネジメントが確立されていない現状を改善することが急務である。そこで本プログラムにおいて、我が国の高度急性期病院における医療の質と安全の評価と確保及び病院機能の高度化に相応した病院組織マネジメントを担う人材の養成を目指す。</p> <p>【取組内容】レセプト、DPCデータ等から求められる臨床指標を用いた医療の質及び安全の評価とそれに基づく医療の質保証プログラムであるPDCAの実行、管理に必要な、データ分析力、実行力を持つとともに、これらの質保証プログラムの実践を病院機能の更なる高度化及び機能的な組織間連携の増強につなげて、病院組織マネジメント改革を実現するリーダーシップを発揮できる人材の養成を目標とする。</p>			
推進委員会からの主なコメント		：優れた点等、	：充実を要する点等
<p>人材育成像が本事業に合致している。 教育プログラムは実践的であるばかりでなく、医療情報を有効活用した独創性のあるものになっている。 事業総括を学長に据え、病院直轄のクオリティ・マネジメント・センターを設置し、また、医療管理政策大学院とも連携した指導体制が盤石であり、事業継続が期待できる。 クオリティ・マネジメント・センターを設置し、それと連携して院内の様々なデータを積極的に取り込むための情報の高度利用能力を高め、医療の質評価に役立てるとともに、そのような文化を恒常的に醸成し続けるためにPDCAサイクルをまわそうとしている点で斬新である。 学内にとどまらず、医科大学以外との連携で医療政策学、医用工学、マネジメント理論を取り入れている点もよい。演習教材の公開を目指している点も「課題解決型高度医療人材養成プログラム」の主旨に合致する。 感染制御、医療安全を含むクリニカルクオリティマネジメント人材の育成を目指す独創的な提案であり、評価できる。 プログラムの目的に「高機能病院で提供される医療の質を評価できる」ということが記載されているが、本事業が目指している分析力・実行力を備えて、リーダーシップをとれる人材が養成されるよう、開発する教育プログラムを常にPDCAサイクルで工程管理することが望まれる。 履修者のキャリア形成支援の具体的な方策について更なる充実が望まれる。</p>			